



2026 SUPER FORMULA LIGHTS RACE REPORT

# FUJI SPEEDWAY

Rd.1 / 2 / 3

3.28[sat] - 29[sun]

[place] 富士スピードウェイ (静岡県小山町)  
 [weather] sat 晴れ sun 晴れ

Rd.1	FUJI SPEEDWAY	MAR 28 - 29
Rd.2	AUTOPOLIS	APR 25 - 26
Rd.3	SUZUKA CIRCUIT	MAY 23 - 24
Rd.4	OKAYAMA	JUN 13 - 14
Rd.5	Sportsland SUGO	AUG 29 - 30
Rd.6	MOBILITY RESORT MOTEGI	SEP 12 - 13

2026年も国内外の若手選手を起用し4台体制で参戦。  
開幕ラウンドは梅垣清が3戦連続で表彰台を獲得する。

2026年の全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権が開幕。Round1・2・3が、3月28日(土)・3月29日(日)に富士スピードウェイで行われた。今年も4台体制でエントリーし、#35 梅垣清(うめがき きよし)は第2戦でポールポジションを獲得し、決勝でもトップ争いに絡む走りを披露。3戦すべてで表彰台に上がり、Round1とRound3で2位に入った。#38 鈴木斗輝哉(すずき ときや)はRound2での4位が最上位となった。日本でのレースは初めてとなる#36 オスカー・ブルツはRound3で4位入賞。アクシャイ・ボーラはRound2での7位が最上位だった。



**RESULTS**

Race 1		
予選 2位	決勝 2位	
Race 2		
予選 1位	決勝 3位	
Race 3		
予選 2位	決勝 2位	
Race 1	Race 2	Race 3
QUALIFYING		
P2/1'32.500	P1/1'32.311	グリッドは第1戦の決勝レース結果
RACE		
P2/1'33.750	P3/1'34.117	P2/1'33.911 Fastest Lap

**35 梅垣 清** | KIYOSHI UMEGAKI  
モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL

**RESULTS**

Race 1		
予選 6位	決勝 5位	
Race 2		
予選 7位	決勝 8位	
Race 3		
予選 5位	決勝 4位	
Race 1	Race 2	Race 3
QUALIFYING		
P6/1'33.166	P7/1'33.165	グリッドは第1戦の決勝レース結果
RACE		
P5/1'34.257	P8/1'34.215	P4/1'34.291

**36 オスカー・ブルツ** | OSCAR WURZ  
PONOS Racing TOM'S TGR-DC SFL

**RESULTS**

Race 1		
予選 7位	決勝 8位	
Race 2		
予選 8位	決勝 7位	
Race 3		
予選 8位	決勝 10位	
Race 1	Race 2	Race 3
QUALIFYING		
P7/1'33.167	P8/1'33.213	グリッドは第1戦の決勝レース結果
RACE		
P8/1'34.546	P7/1'34.427	P10/1'34.827

**37 アクシャイ・ボーラ** | AKSHAY BOHRA  
PONOS Racing TOM'S SFL

**RESULTS**

Race 1		
予選 -位	決勝 9位	
Race 2		
予選 3位	決勝 4位	
Race 3		
予選 9位	決勝 6位	
Race 1	Race 2	Race 3
QUALIFYING		
- /1'44.962	P3/1'32.864	グリッドは第1戦の決勝レース結果
RACE		
P9/1'34.245	P4/1'33.537 Fastest Lap	P6/1'33.988

**38 鈴木 斗輝哉** | TOKIYA SUZUKI  
モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL

## QUALIFYING

天候:晴れ | 気温:16℃ | 路面温度:31℃

走行初日の木曜日は雨に見舞われたが、金曜日以降はドライコンディションとなった富士大会。全員がスーパーフォーミュラ・ライツ初参戦ということで積極的に走り込み、週末のレースに備えた。28日(土)10時05分から始まった公式予選では、梅垣がポールポジション争いに絡む走りをみせた。1回目のセッションではライバルに0.1秒届かず2番手に終わったが、2回目では自身のベストタイムをおよそ0.2秒更新し、ポールポジションを獲得した。同じく予選で速さをみせた鈴木だが、1回目で3番手タイムを記録するも、走路外走行により記録が採用されず後方グリッドに。2回目では挽回し、3番手に食い込んだ。

元F1ドライバーのアレックス・ブルツ氏の息子であるオスカーは1回目で6番手、2回目で7番手につけた。昨年のフォーミュラ・リージョナル・ヨーロッパに参戦していたポーラも日本でのレースは初参戦。戸惑いがありながらも奮闘し、1回目で7位、2回目で8位につけて、決勝での追い上げを目指す。



## RACE

Race 1 天候:晴れ | 気温:17℃ | 路面温度:31℃

Race 3 天候:晴れ | 気温:20℃ | 路面温度:34℃

Race 2 天候:晴れ | 気温:18℃ | 路面温度:26℃

28日(土)14時20分から行われたRound1決勝(21周)。2番グリッドの梅垣はスタートから終始トップを追いかけ続けたが、逆転にはいたらず2位でゴールとなった。予選での走路外走行で最後尾スタートとなった鈴木は、一時4番手まで追い上げる走りをみせたが、終盤にライバルと接触して後退し、9位でレースを終えた。ブルツは5位入賞を果たし、ポーラは8位で初戦を終えた。

29日(日)9時45分からのRound2決勝(15周)では、ポールポジションの梅垣が出遅れて3位でフィニッシュ。逆に好スタートを決めて2番手に浮上した鈴木だったが、タイムペナルティを受けて最終結果は4位となった。ポーラは7位、ブルツは8位と入賞圏には一歩届かず、3レース目に臨む。14時35分からのRound3決勝(15周)も終始トップ争いをした梅垣が2位表彰台。ブルツがひとつ順位を上げて4位に入った。鈴木は9番グリッドから追い上げて6位入賞。ポーラは複数回の走路外走行で5秒のタイムペナルティもあり、10位となった。



Driver  
梅垣 清

今週末は初めからクルマが非常に良く、予選に向けてもコンディションを踏まえて上手くアジャストできていたと思ったのですが、ライバルの方が速く、悔しかったです。ただ、勝てなかった大きな要因はスタートとレース中のかけ引きの部分です。今後改善していかなければいけないと思っていた課題でした。3レース目でようやく少し良いスタートが切れたので、次戦はもっと向上させたいと思います。オートポリスは富士に比べて抜きづらいコースになるので、予選とスタートの精度を上げていきたいです。

Driver  
オスカー・ブルツ

今週末は僕にとって初めてのチャンピオンシップ、初めてのマシン、そして初めてのタイヤと新しいチャレンジばかりのレースウィークとなりました。すべてのことを、たくさん学ばなければならないと感じました。それでも、トップとの差が大きかった最初のセッションに比べると、最後のレースでは4位フィニッシュを果たすことができ、進歩を感じられました。次戦のオートポリスは富士と全く異なるキャラクターのトラックなので、しっかりと準備して臨みます。

Driver  
アクシャイ・ボラー

スーパーフォーミュラ・ライツの初戦は、チャレンジの多い週末でした。予選もレースも明らかにペースが足りず、厳しい戦いでした。解決できなかった課題もありますが、多くのことを学べたと思っています。次戦のオートポリスまで、インターバルは1ヶ月です。この間、トレーニングはもちろん勉強もしながら、しっかりと準備を整えようと思っています。今はレース直後で見えていないこともあると思うので、少し時間をおいて分析した時に、いい発見があることを願っています。

Driver  
鈴木 斗輝哉

予選がすべてだと痛感した開幕大会でした。比較的オーバーテイクがしやすい富士だったので順位を上げることができましたが、ここから先は予選で前にいることがとても重要なコースが続きます。その他あまりいいところのない、反省しかないレースだったと感じています。ただ3回のレースの中で徐々にスタートの雰囲気をつかむことができ、ロングランのパフォーマンスも高いところを維持できたと思っているので、この調子をキープしながら、課題の予選でうまく走れるようにしていきたいです。

Team Director  
山田 淳

今年は4人とも新人で、手探りの状態で進めていった割には、ラップタイムは悪くなかったと思います。ただ、梅垣選手と鈴木選手はミスもありましたし、やはり予選でライバルより前にいないと、決勝も優位に進めることができません。2人ともスピードはあるので、次戦のオートポリスでは初優勝を目指して頑張ってもらいたいです。アクシャイ選手とオスカー選手も日本のレースに慣れていないところはありましたが、週末を通してかなり良くなった気がします。1度も勝てなかったのは悔しいですが、収穫もあった大会だと思います。

